

【報告】西日本豪雨への日眼医活動

2018年8月6日

◆7月5日（木）

午後から西日本中心に大雨が降りだす。

◆7月6日（金）

・日本眼科災害対策会議の本部長として白根会長から総務管理に、全都道府県眼科医会会長の緊急時の連絡先（電話番号等）を聞くように指示。総務部管理より「都道府県眼科医会会長への連絡先提供のお願い」メール送信した。（資料①）

◆7月7日（土）

・白根会長から各地区眼科医会会長にお見舞い電話をいれた。
・日本眼科災害対策会議の各団体へ被害状況の情報提供の依頼のメールを送信した。（資料②）

◆7月8日（日）

・現時点では、まず情報の収集に努める方針を確認する

◆7月9日（月）

・都道府県眼科医会宛に情報提供依頼のメールを送信した。（資料③）

◆7月10日（火）

・役員および事務局員全員、日本眼科災害対策会議の構成団体＋協力団体としてのロービジョン学会、各眼科医会に対して、被害状況の報告（第1報）をメール送信した。

◆7月11日（水）

・岡山県眼科医会副会長の坂口紀子先生から「岡山県倉敷市真備町の避難所にビジョンバンを派遣してほしい」との依頼が加藤理事に電話で入る。

・ビジョンバンの派遣に関して、日眼 大鹿理事長に白根会長が報告し、協力する旨の返信を受け取る。

・都道府県眼科医会に、理化学研究所の仲泊聡先生・堺市立健康福祉プラザ視覚聴覚障害者センター原田敦史様からの情報をメールで送信した。（資料④）

・メディアファックスに「眼科医療支援車両を被災地に派遣へ 西日本豪雨で眼科医会」の

記事が掲載された。(資料⑤)

- ・ 某眼鏡店（被災地外）に被災地支援としての眼鏡提供の依頼をし、内諾を得る

◆7月12日（木）

・ 広報より、マスコミ各社に対して、プレスリリース：「岡山県倉敷市へのビジョンバン（眼科医療支援車両）派遣について」をメール配信した。(資料⑥)

・ 役員および事務局員全員、日本眼科災害対策会議の構成団体+協力団体としてのロービジョン学会、各眼科医会に対して、被害状況の報告（第2報）をメール送信した。

◆7月13日（金）

・ ビジョンバンの派遣に関して、書面で依頼を受けることとし、その旨を岡山県眼科医会事務局に連絡する。

- ・ ビジョンバンの派遣に関して、以下の団体に支援依頼状を発出する。(資料⑦⑧)

CL協会、用剤協会

視能訓練士協会、医療機器協会宛の支援依頼状は、先方から不要との連絡をいただいた。

・ 都道府県眼科医会宛に2度目の情報提供依頼と岡山県の避難所へのビジョンバン派遣のお知らせのメールを送信した。(資料⑨)

◆7月14日（土）

- ・ 15, 16日の真備町でのビジョンバン活動につき、浅井理事と現地役員で調整する。

◆7月15日（日）

・ ビジョンバン災害派遣活動 11時~14時、倉敷市真備町、二万（にま）小学校にて実施。

岡山県眼科医会の主導で成功裡に終了（15, 16日の活動については別報告書作成）

- ・ マスコミ各社で報道される。

◆7月16日（月 祝日）

- ・ ビジョンバン災害派遣活動 11時~14時、倉敷市真備町、菌（その）小学校にて実施。

15日同様、岡山県眼科医会の主導で成功裡に終了（15, 16日の活動については別報告書作成）

◆7月17日（火）

・ 都道府県眼科医会へ、白根会長から15・16日のビジョンバン活動報告と必要支援物資の問い合わせを送る。(資料⑩、⑪、⑫)

- ◆ 7月19日（木）
 - ・各地の被災報告をまとめる。（資料⑬、⑭）

- ◆ 7月23日（月）
 - ・岡山県眼科医会より支援依頼状が届く。遅れたのは、被災現地の混乱事情のため。（資料⑮）

- ◆ 7月27日（金）
 - ・山口県の会員から被災者に物資を協力したいとの申し出があり、提供可能品目のリストも頂いたが、現状では物資支援の要望が被災地から出ていないので、ご好意に感謝してご辞退した。
- ◆ 7月31日（月）
 - ・7月28、29、30、31日に台風12号が関東から被災地、九州を襲った。
 - ・某眼鏡店から災害支援の申し出がある

- ◆ 8月1日（火）
 - ・台風12号の通過に伴う被害について、各都道府県眼科医会にお見舞いメールを送信する。（資料⑯）

- ◆ 8月3日（金）
 - ・白根会長から、大きな被害を受けた眼科医療機関のある3県（広島、岡山、愛媛）眼科医会に支援の必要性を電話で問い合わせ、現時点で必要ないことを最終確認する。

- ◆ 8月4日（土）
 - ・第5回理事会で白根会長から、日眼医としての災害活動の終息宣言がなされる。

- ◆ 8月6日（月）
 - ・各都道府県眼科医会、日本眼科対策会議構成団体、協力団体に活動終息報告と謝意を送る。（資料⑰）

- ◆ 12月予定
 - ・激甚災害による会費免除の医療機関につき、12月理事会で決定予定。

資料①

Subject: 都道府県眼科医会会長への連絡先提供のお願い

都道府県眼科医会会長 各位
(送付先: 都道府県眼科医会事務局)

先生方におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
6月24日に開催されました日本眼科医会 定時代議員会にて新執行部が承認され、
執行部一同気持ちを引き締めて会務を開始いたしました。都道府県会長の先生方
には、倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

さて、本日も各地で大雨による災害の発生が危惧されております。
先生方の地域におかれましては状況はいかがでございますか？

地球的気候変動により、今後様々な災害の発生が危惧されています。
日本眼科医会では、災害時の迅速な対応のため、また、緊急の相談事案が発生した
ときのために全国の都道府県の会長の先生方の連絡先を把握させていただきたく、
連絡をさせていただきました。

会長の先生方の以下の連絡先(直通)をお知らせいただきましたら有難く存じます。

(差し支えない範囲で結構でございます)

- 1) 携帯電話番号
- 2) 携帯メールアドレス
- 3) パソコンメールアドレス

お預かりします個人情報、私、会長と事務局が厳重に管理をいたします。
何卒、ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

白根 雅子 拝
日本眼科医会 会長

資料②

Subject: 【お願い】九州～近畿地区 記録的大雨に関して

日本眼科学会 加藤様

日本眼科医療機器協会 松本様

日本眼科用剤協会 大田様

日本コンタクトレンズ協会 松見様

日本視能訓練士協会 南雲会長

(申し訳ございません。南雲会長、事務局長のお名前を存じ上げないので、南雲会長の名前を書かせていただきます)

お世話になっております。

本日も大雨のため、全国で災害のニュースが数多く、流れています。

すぐには、判明しないと思いますが、以下、ご協力ください。

①今回の大雨による被害状況を、お知らせください。

②今後の対応について、決まっていることがあれば、教えてください。

※土日は出勤し、月曜は休んでおります。

メールは見られますので、ご不明なことがあればお問い合わせください。

高須賀 (携帯 ○○○○○○○○○○○)

資料③

Subject: 日本眼科医会です

都道府県眼科医会 会長各位

日本眼科医会会長 白根雅子
事務局長 高須賀重信

今回の西日本を中心とした大規模豪雨による災害において、被災された都道府県の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

日本眼科医会本部では、各地の状況、外部団体からの情報等を一括して把握し、それを各方面と共有する作業をいたします。

各都道府県におかれましては、被災された会員の方々の被災状況、避難所、被災患者様の状況がわかりましたら、順次で結構ですので、本会に情報をお寄せいただきたくお願いいたします。

連絡先：公益社団法人日本眼科医会事務局長 〒105-0014 東京都港区芝2-2-14-7F

TEL03-5765-7755/FAX03-5765-7676

緊急連絡先 携帯番号〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 メールアドレス：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

現地では臨機応変な活動が必要になるでしょうが、地区医師会とも連携しながら効率的に進めていただければと考えております。日眼医本部としても、要請があれば、必要な支援をお約束いたします。

日本ロービジョン学会から有用な「視覚障害者用のリーフレット」提供の申し出がありました。被災各地では、被災された視覚障害者もいらっしゃると思います。視覚障害者用のリーフレットを、日本ロービジョン学会のホームページからダウンロードすることが可能ですので、地元の視覚障害者支援にお役立ていただけましたら幸いです。

<https://www.jslrr.org/information/disaster>

なお、ロービジョン学会より、必要があれば「日本ロービジョン学会事務局」まで連絡していただきましたらリーフレットの現物も被災地の眼科医会や避難所に無料でお配りいたしますとのことでございますので、情報提供をさせていただきます。

【日本ロービジョン学会事務局】

〒701-0114岡山県倉敷市松島666-4-101

jslrr@mx3.kct.ne.jp TEL/FAX 086-464-0320

資料④

Subject: 日本眼科医会です (西日本豪雨被害状況について)

都道府県眼科医会会長 各位

理化学研究所の仲泊聡先生、堺市立健康福祉プラザ視覚聴覚障害者センター
原田敦史様からの情報です

1、災害に伴い各地で公衆無線LANが無料開放されています。

以下にまとめがあります。

<https://www.wlan-business.org/archives/15561>

2、テレビのL字情報がこれまで見えないという意見がありました

NHKがwebで配信し始め、人工音声なら聞くことができるようになりました。

<http://www5.nhk.or.jp/saigai/>

JDF (日本障害フォーラム) が作ったこちらのページから入るとわかりやす
うです。

どうぞご利用ください。

http://www.normanet.ne.jp/~jdf/shiryo/nhk_disaster_info.html

岡山 <http://www2.nhk.or.jp/okayama/k/>

広島 <http://www2.nhk.or.jp/hiroshima/k/>

愛媛 <http://www2.nhk.or.jp/matsuyama/k/>

>>

>>

3、家の中が大変な状態で発信できない方もいるので

眼科医には危なそうな患者には連絡を取って

行政の災害対策本部につないでほしいと言われています。

4、厚労省から市区町村に届いた事務連絡の抜粋です。

補装具を流された方は再交付の対象となるかと思えます。

○被災された障害者等に対する補装具費支給及び日常生活用具給付等事業の弾力的な運用について

避難所等に避難している障害者等の中には、補装具や日常生活用具が必要となる方も生じると考えられますので、必要な場合には耐用年数等の如何にかかわらず支給・給付して差し支えありません。

○被災された視聴覚障害者等に対する情報・意思疎通支援について

被災された視覚障害者や聴覚障害者等に対しては、特に情報・意思疎通支援が何より重要となります。管内被災市区町村における避難状況等を踏まえ、点字や音声、文字等による災害情報等の提供、手話通訳者等の派遣などの情報・意思疎通支援について、視聴覚障害者情報提供施設等と連携し、万全の対応を期すようお願いします。

○補装具費については、平成19年3月27日付け障害保健福祉部長通知（障発第0327004号）に基づき、被災した補装具費支給対象障害者等又はその属する世帯の生計を主として維持する者の所得状況の変化等に応じて補装具費の支給対象とすることや負担上限月額を適用することなど、適宜の方法により補装具費支給対象障害者等の負担を軽減することができます。

○災害により被災した視聴覚障害等への避難所等における

情報・コミュニケーション支援について

被災した視聴覚障害者等については、その障害特性から情報取得や他者とのコミュニケーションが特に困難な状況となることから、ボランティア等による支援やホワイトボード等の機材を使用した有効な支援の必要性が高くなります。

つきましては、避難所等における視聴覚障害者等に対する情報・コミュニケーション支援について、具体的な方法や配慮等の例を別添のとおり情報提供致しますので、避難所等への周知等をお願い致します。

なお、避難所の設置期間の長期化が見込まれる場合には、特に視聴覚障害者等の状況・ニーズの把握に努めるとともに、ボランティアや関係団体等と連携を密にし、特段の御配慮をお願い致します。

■ 濁流押し寄せ、機能不全に

地域医療担う病院緊迫

西日本豪雨で、面積の約3割が浸水した岡山県倉敷市真備町地区の「まび記念病院」(80床)は周囲から孤立し、機能不全に陥った。水位が上昇する中、地域医療を担う存在として、看護師が夜通しで患者をケア。医師が運び込まれてきた避難者を手当てした。水は既に引いたが、再開の見通しは立たないままだ。

7日朝、病院の周囲に押し寄せていた濁流が玄関の自動ドアを吹き飛ばし、1階ロビーになだれ込んだ。のみ込まれた待合所の椅子や机が壁にぶつかって異様な音を立て、渦巻き状に回転した。

病院の入沢晃己事務部長は、吹き抜けの2階からぼうぜんと眺めていた。水は1時間ほどで2メートルの高さまで迫り、やがて完全に停電。屋外に設置された緊急用の発電機も使い物にならなかった。

「気分は悪くないですか」。真っ暗になった院内ではナースコールが使えず、看護師らは総掛かりで患者約80人の安否を確認した。電動ベッドは動かず、起き上がったままのものも。周辺で孤立し、自衛隊のボートで救助された住民も次々と運び込まれ、7日午後11時には200人を超えた。けが人には医者が応急処置をした。

感染症などを警戒し、住民には「患者の部屋には絶対入らないで」と注意した。飼い主と一緒に避難してきた犬がほえる中、人々が廊下に横たわっていた。入院患者用の備蓄食料は3日分あり、患者らに優先的に配布。避難者も7日夜に自衛隊が運んでくれたレトルト食品などで空腹をしのいだ。

夜が明けると、透析患者約10人を優先してヘリコプターで搬送。やがて地域住民も自衛隊のボートで運ばれた。最後の救助者が脱出したのは8日午後4時すぎのことだった。

泥だらけの椅子が無造作に積み重なり、壁にはくっきりと水の跡が残る。高さは3メートルを超えていた。1階にあった磁気共鳴画像装置(MRI)などの機器は全て壊れていた。水が引いた後「葉がほしい」と相談に来た男性もいたが、どうすることもできなかった。「再開のめどは全く立っていない」。入沢さんは目を赤くしながら、院内を見回していた。

【共同】

■ 眼科医療支援車両を被災地に派遣へ

西日本豪雨で眼科医会

西日本を中心とする豪雨被害を受け、日本眼科医会は眼科医療支援車両(ビジョンバン)を被災地に派遣する。被災地での支援活動は15日と16日の2日間になる見通し。

岡山県眼科医会が県と調整を進めており、今後、具体的な派遣先や支援活動の内容を決める。11日時点では、眼科医のもと、緑内障をはじめとした各種眼疾患に対応した点眼薬の配布、使い捨てコンタクトレンズの配布などを通じて、被災者を支援する見込み。

資料⑥

.....

Subject: 【プレスリリース】

岡山県倉敷市へのビジョンバン（眼科医療支援車両）派遣について（公益社団法人 日本眼科医会）

日本記者クラブ加盟社 各位

こちらは公益社団法人 日本眼科医会と申します。

平成30年7月豪雨による被害地域への支援活動として、（公社）日本眼科医会では、この度の豪雨被害の著しい岡山県倉敷市真備町への「ビジョンバン（眼科医療支援車両）」派遣を決定致しましたのでここにご案内申し上げます。

本被災地支援は、被災地を所管する岡山県眼科医会が主体となっており、（公財）日本眼科学会と（公社）日本眼科医会とが連携して協働支援する事業となっております。

実際の活動は、7/15-16の二日間を予定しております。場所は現在調整中です。本活動には日本眼科医会から理事の浅井（ビジョンバン担当）が現地入りする予定です。

このたびも報道機関・関係者の皆様のお力をお借りして、有事における眼科医療支援情報について、被災地住民や医療関係者、そして国民への迅速な情報提供に役立てたいと考えております。

ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。資料や写真等、必要なものがございましたらご用命ください。

当日の詳細は決まり次第、改めて続報をお送りさせていただきます。ご興味のある社につきましては、下記までお問い合わせくださいますようお願い申し上げます。

=====

記

日 時 平成30年7月15日（日） — 16日（月・祝）

場 所 岡山県倉敷市（真備町周辺地域）

本件に関するお問い合わせ：

●公益社団法人 日本眼科医会 事務局 （本件に関する全般的なお問い合わせ）

〒105-0014 東京都港区芝2-2-14 一星芝ビルディング7階

TEL：03-5765-7755（平日10:00～18:00、土日祝は休み）

FAX：03-5765-7676

<http://www.gankaikai.or.jp/>

●7/15—16のお問い合わせ（当日の健診場所・健診内容）

（公社）日本眼科医会 理事（ビジョンバン）

浅井 利通 TEL：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

●7/14及び17日以降のお問い合わせ（健診以外のビジョンバンの詳細について）

（公社）日本眼科医会 常任理事（広報）

加藤 圭一 TEL：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

=====

平成30年7月12日

公益社団法人 日本眼科医会

会 長 白根 雅子

常任理事 加藤 圭一（広報）

〒105-0014 東京都港区芝2-2-14 一星芝ビルディング7階

TEL：03-5765-7755 FAX：03-5765-7676

<http://www.gankaikai.or.jp/>

●添付資料（写真を含む）：

【添付1】2014年6月「ビジョンバン, フィリピン台風被災地へ」(機関誌「日本の眼科」記事)

【添付2】2016年11月「ビジョンバン, パラオへ行く!」(機関誌「日本の眼科」記事)

●ビジョンバン(眼科医療支援車両)とは?

1) 平時には健診を主体とした活動を、有事に際しては救援活動を行います。

- ・眼科総合健診・目の健康相談
- ・眼疾患啓発活動
- ・眼疾患疫学的調査
- ・日本全国で激甚災害が起きた時の救援活動

2) ビジョンバンの来歴

東日本大震災後、震災復興予算として宮城県を經由して宮城県眼科医会にビジョンバンが予算執行(1億円)され、被災3県を中心とした事業や広域災害への対応を行ってきた。H28年からは、その所管が(公社)日本眼科医会に移管された。

3) 近年の活動実績

- ・H24年度 国内:被災2か所、受診者延べ230名、医師数延べ16名
- ・H25年度 国内&海外(フィリピン):40か所:受診者延べ1,823名、医師数延べ150人
- ・H26年度 国内30か所:受診者延べ1,068名、医師数延べ91人
- ・H27年度 国内20か所:受診者延べ1,104名、医師数延べ65名
- ・H28年度 国内:全国9か所、受診者延べ357名、医師数延べ40名
海外:パラオ・台風被害への救助活動 受診者延べ583人
- ・H29年度 国内:全国13か所、受診者延べ659名、医師数延べ92名

以上

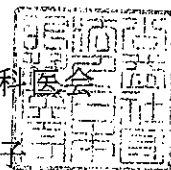
平成 30 年 7 月 11 日

一般社団法人 日本コンタクトレンズ協会

会長 浦壁 昌広 殿

公益社団法人 日本眼科医会

会長 白根 雅子



支 援 依 頼 状

平成 30 年 7 月発生 of 西日本豪雨被害につきまして、別紙に通り、商品の提供をお願いしたく、依頼いたします。

記

1. 使用日時：7月15・16日
2. 場所：岡山県倉敷市真備町
3. 担当窓口：本会 理事 浅井 利通
4. 希望支援物資：別紙のとおり

以上

ビジョンバン搭載用支援物資

支援要請物資：

支援物資	度数	数量
一日使い捨てコンタクトレンズ	-1.00, -1.25, -1.50, -1.75, -2.00, -2.25, -2.50, -2.75, -3.00, -3.25, -3.50, -3.75, -4.00, -4.25, -4.50, -4.75, -5.00, -5.25, -5.50, -5.75, -6.00, -6.50, -7.00, -7.50, -8.00, -8.50, -9.00, -9.50, -10.00	各 6 箱
ソフトコンタクトレンズ用消毒液 (MPS)		40 本
ハードコンタクトレンズ用消毒液		20 本

納入先：〒719-3701

岡山県新見市哲西町矢田 3604

きらめき広場・哲西内 NPOきらめき広場 (ビジョンバン)

Tel: 0867-94-2143

納入希望日：2018年7月14日(土) 必着

平成 30 年 7 月 11 日

一般社団法人 日本眼科用剤協会

会長 黒川 明 殿

公益社団法人 日本眼科医会

会長 白根 雅子



支 援 依 頼 状

平成 30 年 7 月発生の西日本豪雨被害につきまして、別紙に通じ、商品の提供をお願いし
たく、依頼いたします。

記

1. 使用日時：7月15・16日
2. 場所：岡山県倉敷市真備町
3. 担当窓口：本会 理事 浅井 利通
4. 希望支援物資：
 - ・生理食塩水 500ml×20本
 - ・アイファガン点眼液 0.1% 30本
 - ・アレジオン点眼液 0.05% 30本
 - ・クラビット点眼液 0.5% 50本
 - ・コソプト配合点眼液 30本
 - ・タプロス点眼液 0.0015% 30本
 - ・タリビッド眼軟膏 0.3% 10本
 - ・ヒアレイン点眼液 0.1% 50本
 - ・フルメトロン点眼液 0.1% 50本
 - ・プロナック点眼液 0.1% 50本
 - ・ルミガン点眼液 0.3% 30本

以上

資料⑨

-----Original Message-----

Subject: 【お願いとご報告】日本眼科医会より 20180713

平成 30 年 7 月 13 日

都道府県眼科医会 会長各位

公益社団法人 日本眼科医会 会長 白根雅子

事務局長 高須賀重信

西日本豪雨による災害において、多くの人命が失われ、被害・被災者が出ております。心よりお見舞い申し上げます。

日本眼科医会本部では、各地の状況、外部団体からの情報提供を受け、状況把握作業をしております。各都道府県眼科医会におかれましても、情報提供のご協力ありがとうございます。まだ、現状把握が出来ないところも有ろうかと思えます。引き続き、ご連絡をお願いします。

特に被災地域の眼科医会、地域眼科医療機関は地域の眼科医療の維持、避難所患者様のケアなどに、非常なご苦勞をなさっていることと存じます。ご多忙の折、恐縮ですが、日眼医本部として何かご協力できることがあれば、ご連絡ください。

ご報告です。岡山県眼科医会からの要請で、7月15・16日、岡山県倉敷市真備町の避難所にビジョンバンの派遣が予定されています。

連絡先：公益社団法人日本眼科医会 事務局長

〒105-0014 東京都港区芝2-2-14-7F

TEL03-5765-7755/FAX03-5765-7676

緊急連絡先 携帯番号〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

メールアドレス：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

資料⑩

平成30年7月17日

都道府県眼科医会 会長各位

日本眼科医会 会長 白根 雅子
事務局長 高須賀重信

平成30年7月豪雨災害にて被災された会員の皆様おかれましては、自院の診療体制の復旧、被災されたスタッフや患者様への対応で、お疲れのことと拝察いたします。心よりお見舞い申し上げます。また、地域眼科医会の先生方には、酷暑の中、避難所への眼科医療供給体制の構築などにご尽力いただき感謝申し上げます。

7月15日、16日の両日、岡山県眼科医会から要請をいただき、日本眼科学会、眼科関連団体と協力してビジョンバンを倉敷市真備町の避難所に派遣し、岡山県の先生方を中心に被災者の眼科診療にあたりました。被災した方々は、猛暑が追い打ちをかけて免疫力が低下し感染症に罹患したり、緑内障の患者さんなどは点眼薬が消失して不安をかかえておられ、診察のうえ、点眼薬の提供、相談業務を実施しました。

被災地域に必要な医療支援は、周辺医療機関の復旧状況、医療物資供給体制により様々であると思われまます。現地眼科医会では最善を尽くして現況に沿った活動がなされており、日本眼科医会はお手伝いする立場で動いています。つきましては、各地の被災者の眼科診療に必要な物資（点眼薬、コンタクトレンズ、コンタクトレンズケア用品、メガネ等）などがありましたら手配をいたしますので、本会までご連絡ください。

各地で高温注意報が発令されています。健康に十分留意なさり、災害へのご対応をいただきますよう、お願い申し上げます。

【連絡先】

公益社団法人日本眼科医会 事務局長

〒105-0014

東京都港区芝2-2-14-7F TEL03-5765-7755 FAX03-5765-7676

緊急連絡先 携帯番号 ○○○○○○○○○○○○ mail: ○○○○○○○○○○○○

平成 30 年 7 月 15 日・16 日

平成 30 年西日本豪雨被害
岡山県被災地区 ビジョンバンによる巡回診療に関して

1. 日時：7 月 15・16 日（写真は 15 日のものです。）
2. 場所：岡山県倉敷市真備町
3. 参加者：
岡山県眼科医会：渡辺英臣（会長）、坂口紀子（副会長）、辻 優（副会長）、桐生純一（川崎医科大学教授）、松本泰明（倉敷市）、熊瀬有美（岡山大学ロービジョン外来）
日本眼科医会：白根雅子（会長）、浅井利通（理事）
兵庫県眼科医会：松田 聡（兵庫県災害医療コーディネーター、兵庫県眼科医会理事）
看護師：岡山市立市民病院 1 名
視能訓練士：視能訓練士協会 1 名









資料⑫

7月15、16日の倉敷市真備町での災害支援活動報告

日眼医理事 浅井利通

◆7月15日（土）

大変大きな成果を得ました。今後の眼科災害救急医療の大きな一歩だと思えます。

11時～14時、倉敷市真備町、二万（にま）小学校です。

出務医：

岡山県眼科医会：渡辺英臣（会長）、坂口紀子（副会長）、辻 優（副会長）、桐生純一（川崎医科大学教授）、松本泰明（倉敷市）、熊瀬有美（岡山大学ロービジョン外来）

日本眼科医会：白根雅子（会長）、浅井利通（理事）

兵庫県眼科医会：松田 聡（兵庫県災害医療コーディネーター、兵庫県眼科医会理事）

看護師：岡山市立市民病院1名

視能訓練士：視能訓練士協会1名

9時倉敷市役所集合。白根会長、松田先生、私の3名は7時30分に岡山駅で合流し、坂口先生と辻先生の車に分乗して倉敷市に向かいました。

ビジョンバンは倉敷市役所駐車場に前日岡山県新見市でおこなわれた、きらめき健康福祉まつり併設ビジョンバン健診から、今日朝回送しています。（岡山県眼科医会の先生、三日連続の出務ご苦労様です。）

倉敷市役所で全員集合し、市役所のマイクロバスで避難所に向かいました。

この度の災害派遣は倉敷市等の完全バックアップで行われています。地元の全面的な協力なくしては災害派遣は不能であると痛感しています。岡山県眼科医会の先生方、短時間でここまでの体制を整えていただきありがとうございました。

ビジョンバンは運動場に直接入れず（入り口を通過できない）、隣のサブグラウンドに駐車し、眼科医会の診療に提供いただいた教室でハンドスリットでの診療をまず行い、必要に応じてビジョンバンに案内することとしました。

診療人数：約20名（正確な内容はしばらくおまちください。）

多くの患者さんに感謝され、満足していただいたと思います。

◆7月16日（日）

無事、ビジョンバン災害派遣が終了しました。岡山県眼科医会の綿密な準備のおかげで、全くトラブルなく、多くの避難されている患者さんにとっても喜んでもらえ、避難所でも大きな感謝をしていただきました。医療関係者にも眼科の存在をアピールできたと思います。

眼科が頑張っているということが全国に知ってもらえたと思います。

11時～14時、倉敷市真備町、菌（その）小学校。

出務医：渡辺英臣（会長）、坂口紀子（副会長）、辻 優（副会長）、辻 俊彦（副会長・倉敷市）、田淵昭雄（川崎医療福祉大学元教授）藤本久貴（川崎医科大学）

日本眼科医会：浅井利通（理事）

兵庫県眼科医会：松田 聡（兵庫県災害医療コーディネーター、兵庫県眼科医会理事）

看護師：栗田 歩

視能訓練士：今井俊裕（日本視能訓練士協会）

辻 優 先生が短時間で詳細な集計を出していただきました。

15日（日）：

受診者数：21名（男10名、女11名）

結膜炎：6名

結膜炎の疑い：4名

アレルギー性結膜炎：1名

角膜炎：2名

ドライアイ：4名

コンタクトレンズ：1名

緑内障：1名

白内障：2名

眼内レンズ挿入眼：2名

（重複有）

16日（月）

受診者数：71名（男31名、女40名）

結膜炎：41名
アレルギー性結膜炎：11名
角膜炎：2名
ドライアイ：6名
緑内障：3名
白内障：3名
眼内レンズ挿入眼：2名
結膜異物：1名
眼瞼炎：2名
結膜下出血：2名
麦粒腫：1名
角膜びらん：2名
網膜疾患：3名
(重複有)

受診患者の半数以上が結膜炎でした。目の違和感や、充血、眼脂等の主訴で受診される患者さんがとても多く、幼児の結膜異物除去を行った症例もありました。明確な

原因特定はこれからでしょうが、環境悪化による結膜炎発症の可能性は高いかと思われます。岡田小学校避難所の救急診療医グループが菌小学校まで訪ねてこられ、岡田小学校避難所で結膜炎の発症が大変多いのでどの様に対処すれば良いのか相談されました。眼科は救命救急の災害初期には必要ないと思われませんが、少し落ち着いた時期からの需要は大きいことが示され、対応が必要なのは明白だと思います。今回は岡山県眼科医会の活躍により、大きな一歩を踏み出すことができました。

今後どのように展開するかが重要になると思います。

資料⑬

西日本豪雨 被害状況について

2018/0722(日) 15:00 現在

※以下の日時は受信した時刻になります

【各団体から】

◆日本眼科学会

・2018/07/07 (土) 15:31

今朝、倉敷で開催されている日本弱視斜視学会が中止になったとの連絡を受けました、昨日の一般講演は滞りなく終了したそうです。その他大学関係から被災に関する情報はありません。

・2018/07/10 (火) 14:40

大学の状況を一覽でいただきました。資料⑬を参照ください。

・2018/07/11 (水) 15:41

3 大学（滋賀医大、産業医大、川崎医大）から連絡がございました。別紙を参照ください。

◆日本視能訓練士協会 南雲会長

・2018/07/09 (月) 10:09

会員への安否・被害状況に関しては本日、西日本・一部近畿の会員へメール配信予定です。判り次第、ご連絡いたします。私も 5 日 木曜午後より日本弱視斜視学会に参加のため倉敷におり交通網も混乱し、一昨日は戻るができず延泊し昨夕戻りました。学会会場のごございました倉敷市では甚大な被害がでており最初から参加をあきらめたかた、途中で帰宅された方々が多数おられることをうかがっております。

・2018/07/11 (水) 9:23

倉敷真備記念病院に勤務している視能訓練士から下記の情報が届いております。

.....

眼科は、1 階に開設されており眼科外来は水没。眼科で使用している器機は朝一で眼科の医師がエレベーターに乗せて上の階に移動させたので多くの器機は無事。ただ、スリットが水没。院内の MRI などの機械は水没し使用不可。眼科の医師は、車で真備記念病院に通勤し車は水没し日曜日まで帰宅できなかった。真備記念病院での眼科は機能していないが関連病院である「むらかみクリニック（倉敷市）」に患者さんを紹介し診療をしている。

◆日本コンタクトレンズ協会

・2018/07/10 (火) 10:17

報告日：2018年7月9日（月）17:00時点の情報			
	眼科施設名	住所	被害状況
1	内菌眼科	兵庫県三木市	浸水被害あるが軽度。院内清掃完了し診察再開。
2	宍道眼科	広島県呉市	断水により本日休診。
3	小野眼科	広島市安芸区	床上浸水あり。
4	ふじかわ眼科高梁分院	岡山県高梁市	診療所土砂、浸水災害あり。当面診察再開の見込み無し。
5	いんなみ眼科・神経内科	愛媛県大洲市	浸水被害はあったものの診察等支障なし。
6	東大洲城戸眼科	愛媛県大洲市	床上浸水あり。院長骨折で当面休診。
7	末光眼科	愛媛県大洲市若宮 8 88-1	床上浸水あり。
8	福田眼科病院	福岡県早良区藤崎 1 -24-1	天井から雨漏り。販売店が水に浸かる。(軽微な被害)
9	真備記念病院	岡山県倉敷市(真備町)	報道で洪水による浸水の様子が伝えられていますが電話不通です。又、大渋滞の為、現地まで行けない状況です。
10	伊島セントラルクリニック眼科	岡山県岡山市	1階浸水。隣接の岡山中央病院で診療をしています。
	広島県内の安芸区、安佐南区可部、安佐北区、三好市、三原市、呉市については被害の大きい地区ではあったが、電話が繋がらない状況で現に点では詳細は不明。		

黄色は他からも情報が届いています。

◆日本眼科用剤協会 事務局 大田様

・ 2018/07/10 (火) 17:27

さて、当協会の会員会社の状況につきまして、まだ全社ではございませんが本日 17 時時点での各社に確認できた情報についてご報告させていただきます。被害状況につきましては、特に大きな被害はなく、安定供給に支障が出る製品もございません。

ただ、流通に関しましては、中四国地方で製品の一部に延着が生じる可能性が若干あるとの情報をいただいております。

・ 2018/07/09 (月) 10:44

本日、会員会社各社へ確認の依頼を要請しましたので、確認でき次第、ご報告させていただきます。

◆ 日本眼科医療機器協会 事務局 松本様

・ 2018/07/09 (月) 11:25

政府の災害対策会議の指示により厚生労働省医政局経済課より医療機器の安定供給の視点から豪雨による被災に伴う問題が発生していないかの調査が、日本医療機器産業連合会（医機連）経由で要請されています。会員企業の被災、医療機器納入先の医療機関での医療機器の被災などについて会員企業に添付協会内での調査指示を発出しております

・ 2018/07/09 (月) 13:46

本日、12:00 時点で会員企業より回答いただいた供給状況についての回答です。

- ・ 北陸地方：福井県
- ・ 中部地方：岐阜県
- ・ 関西地方：京都府、兵庫県
- ・ 中国地方：広島県、岡山県、島根県、山口県
- ・ 四国地方：愛媛県、香川県、高知県、徳島県
- ・ 九州地方：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島

においては、一般道・高速道路の通行止めなど交通インフラの影響で集荷・配送の一部に遅延が発生しているとのことです。納入先の医療機関の状況については情報収集しきれていませんが下記報告も届いております。

倉敷市真備記念病院の 1 階が水没。病院再開日は未定。

.....

【都道府県眼科医会から】

◆ 岩手県眼科医会 早坂常任理事

・ 2018/07/20 (金) 6:18

岩手県では被害は出ておりません。

◆岡山県 渡辺会長

・2018/07/19 (木) 14:41

セントラルクリニックは、先日の水害の折一階に浸水し、その後、復旧はしているのですが、浸水の影響でエレベーターが故障してしまい、5階にある眼科診察室まで眼科の患者様が階段で上がってくることが困難であることが予想されたため、現在、となりの岡山中央病院の手術室前にある術後診察につかう部屋で仮に診察を行っております。ハンフリーやOCT、カメラなどの精密機械はクリニックの5階から階段で移動させにくい事、また中央病院の部屋のキャパシティの問題から移動させておらず、現在はそのような検査以外の診察のみを行っています。ただ、AMDの注射後のフォローの人など、どうしてもOCTが必要な人がいますので、そのような人は可能であれば、5階のクリニックに階段で上がっていただいて検査をしようかとは思っています。エレベーターの復旧時期は未定で最悪3か月ほどかかるような話もでてきているため、長期になる場合、検査が必要で5階にあがれる人は日にちをまとめて5階でなど対応を検討していく予定ではあります。AMDの注射目的で紹介させていただいた患者様で5階まで往復するのが難しそうな方などは、誠に申し訳ないのですが、注射後のフォローも復旧までお願いさせていただくことがでてくるかもしれません。

また、現在、完全予約制をとらせていただいております、予約外受診をお断りしています。

その他の施設の追加情報はございません。

◆広島県 皆本会長

・2018/07/17 (火) 19:32

つるが眼科と本郷中央病院を除き、通常の診療体制に復しているようです。

◆愛媛県 原会長

・2018/07/15(日) 14:50

いんなみ眼科・神経外科および末光眼科は通常診療しています。東大州城戸眼科は、休診中だが、8月1日より再開見込みと聞いています。

◆京都府 千原会長

・2018/07/10 (火) 19:16

京都府は北部福知山地区で田畑と一部市街地の冠水と、山崩れの発生が見られましたが、2018/7/10 現在、幸い眼科医会の会員の施設への被害は報告されていません。

◆島根県 清水会長

・2018/07/11 (水) 1:00

島根県では、7月6日(金)の午後7時半ころ、広島県、岡山県、鳥取県に特別警報が発せられたのを機に、会員へ警戒を呼びかけ、被害があったら報告をお願いしました。県内の大きな河川の流域では避難指示が出たところもありましたが、現時点では、幸い被害にあったとの報告はありません。

◆北海道 事務局

・2018/07/11 (水) 11:29

現時点で北海道の被害情報は届いておりません。

◆山口県 大西会長

・2018/07/11 (水) 13:56

山口県では現在のところ人的被害、施設の被害はありません。

◆福岡県 事務局

下記2軒で浸水があったとのことでしたが、月曜から診療を再開しています。

鬼木眼科医院(筑紫野市) → 金曜午後・土曜日休診

つむら眼科(久留米市) → 土曜日休診

眼科診療所部分は2階のため、診療には支障をきたさなかったようですが、1階部分が一部浸水し、ガス・水道工事が必要になったそうです。

岡田眼科医院(北九州市戸畑区)

◆岐阜県 井戸会長

・2018/07/10 (火) 14:51

岐阜県では、8日未明にかなりの降水量に達し、一部地域で河川が氾濫しましたが、幸い被災した眼科はなく、9日に休診した眼科医院はありませんでした。

◆中四国ブロック長 田内会長

・2018/07/09 (月) 22:18

中国四国ブロック幹事県として情報を集めております

(広島県 皆本会長から)

広島県内の眼科医療機関の被害状況については少しずつしか情報が得られておりませんが、(あえて名前を挙げますと)

広島県呉市安浦町「つるが眼科」が床上浸水、三原市本郷町「本郷中央病院(眼

科あり)」が周囲一帯が水浸しているという情報が入っています。

呉市の一部と尾道市、三原市は断水しているため休診になっている眼科診療所が多いようですが、実数は把握できておりません。

呉市内の病院、**済生会呉病院**と**国立呉医療センター**では定期手術は休止、国立呉医療センターでは緊急手術のみ対応、という状況の様です。

広島ー呉の間は、現在海上交通に依存しているため広島市から呉市に通勤している眼科医および医療スタッフには昨夜～今朝早くフェリーで呉に入って本日の診療に対応した方も少なくないようです。それらの方は本日は診療機関の中で泊まって明日の診療に対応するとおっしゃっている方が複数いらっしゃいます。

尾道市の**厚生連尾道総合病院**は今週の入院を取りやめています。

(愛媛県 原会長)

愛媛県は大洲市で被害がでています。大洲の**東大洲城戸眼科**が床上浸水で、器械がほぼダメになり、復旧までに数週間かかるとのことでした。

また、同じく大洲市の**いんなみ眼科**は床上浸水でしたが、くるぶし程度で、本日より診療ができていたとのことでした。他は特に被害はなかった模様です。

(高知県 田内会長)

・2018/07/09 (月) 22:18

一部の施設で職員が勤務できなかったという以外に人的被害、施設の被害はいまのところありません。

・2018/07/10 (火) 6:03

岡山県、香川県、徳島県から連絡が入りました

(岡山県 渡辺会長)

岡山県では、TVでも報道されている倉敷市真備町の**真備記念病院眼科**の1階が水没し、移動できる検査機器は2階に移動しましたが、再開の目処は立っていないようです。また、同町川辺の**生田眼科**も2階建ての1階は天井まですべて水没しておられます。

高梁市の**藤川眼科高梁分院**の田村先生によると1階がほぼ水没し、甚大な被害に遭われたようです。

(徳島県 盛会長)

徳島県は幸い、施設も人的にも被害は報告されていません。

(香川県 上枝会長)

香川県では幸い現時点では人的・施設の被害の報告はございません。

以下、中四国ブロックの各県からです。

◆岡山県眼科医会 坂口紀子副会長

2018/07/09 (月) 8:14

今週末、ビジョンバンは岡山です。この度の豪雨で、中国四国地方には、大きな被害が出ました。本日まで、県内のJR在来線はすべてストップ、高速道路も多くが通行止めで、一般道も場所によっては、落石、土砂、流木などで通行止となっていました。明日からは、一部を除き、徐々に通行止め解除となるようです。

※2018/07/09 (月) 23:02

(ビジョンバン健診について) 7月14日のビジョンバン健診は予定通りということで準備しています。

1. 交通事情について

新見市哲西町は、岡山県の最も西で北の端です。岡山からは、岡山道、中国縦貫道経由で、新見インターで降り、その後一般道を30分ほど走ります。岡山市、総社市、高梁市、新見市の経路です。当初は岡山県内すべての高速道路が通行止め、その後も高梁(たかはし)市内で、岡山道が通行止めとなっていました。現在は解除されています。山陽自動車道は広島方面が開通していません。国道180号線は、高梁川の増水で道路上に流木が堆積し、しばらくかかりそうです。JRの伯備線(岡山から、新見方面)も近くで盛り土が流され、運休しています。したがって、JRは使えませんし、一般道でもかなり時間がかかりますが、

私たちは当初から、高速道路を使い、貸し切りバスで向かう予定でしたので、ひどい渋滞がなければ概ね予定時間で行けるかと考えています。

2. 新見市の会場付近について

今回報道されている、倉敷市真備町、総社市などに比べ、新見市の被害は比較的少なく、山間部の道路損壊があるものの、会場付近はほとんど問題はないようです。

現地でお世話くださる方の自宅から見える、中国縦貫道の車の流れも普段と変わらないとのことでした。それで、健康福祉まつりは予定通り開催される方針で、準備中です。

3. スタッフについて

岡山市、新見市側とも出務に支障は生じていません。

ということで、現地と相談しまして、今朝も、予定通り開催という確認を行いました。

◆鳥取県 神鳥会長

・2018/07/10 (火) 12:40

鳥取県の眼科医療機関では、人的・物的被害は報告されていませんが、眼科医療機関の所在地区が避難指示を受け、職員の安全を確保するために休診した眼科診療所が 1 件ありました。

◆大阪府眼科医会 事務局

・2018/07/10 (火) 9:02

今回の平成 30 年 7 月豪雨では、各種報道、新聞、総務省の発表があり、本会で被害状況確認は行っておりません。大阪府への影響は、大阪北部地震での屋根瓦復旧遅れによる漏水などがございしますが、広島県・岡山県・愛媛県のような甚大な被害はなく、大阪府内眼科医療機関への影響はほとんどなかった。

◆山形県眼科医会 事務局 佐東様

・2018/07/09 (月) 14:34

山形県では現在までのところ、特に被害があったという話は聞いておりません。

【その他】

◆広島大学病院 木内良明 先生

2018/07/09 (月) 8:02

広島大学病院は災害対策本部を立ち上げて被災患者を受入れました。広島市内の中心部は大きな被害もなく、病院機能も通常通りです。既に超急性期は過ぎて大学病院の災害対策本部は閉鎖しました。既に 10000 人前後の方が避難所におられます。次のステップにうつりたいと思っています。災害対策基本法に基づいて、県知事の指示の元に活動するわけですが、昨日夕方の時点で最初のスイッチが入っていません。

以上

資料

2018年7月9日（月） 豪雨による災害について確認先一覧（11府県17大学）

岐阜	山本哲也先生	（岐阜大）	岐阜市近郊では幸いにして被害はなく、岐阜大学病院はじめ病院業務は支障なく行われています。岐阜大学眼科関連施設のうち、岐阜市から派遣している県立下呂病院において医師が到達できないことによる診療への影響がありましたが、おおむね通常業務ができております。
滋賀	大路正人先生	（滋賀医科大）	滋賀医大自体は被害はありません。 電車や高速道路の通行止めで、通勤に問題があった程度です。
京都	辻川明孝先生	（京都大）	
	外園千恵先生	（京都府立医科大）	京都府北部では豪雨の影響で土砂災害等が発生しましたが、病院に被害はなく眼科関係者も無事に過ごしております。
兵庫	中村 誠先生	（神戸大）	神戸大学ならびに関連病院では、特に問題は生じておりません。 神戸大学からも広島に向けてDMATが出動することになりました。
	五味 文先生	（兵庫医科大）	幸い当方ならびに関連病院には大きな被害は出ておりません。 いずれの施設もほぼ通常通り診療できております。
愛媛	白石 敦先生	（愛媛大）	大学病院、主関連病院には支障なく稼働しています。 県内の一部の開業の先生の中には水没された方もおられ、これから支援について検討しないといけない状況です。
高知	福島敦樹先生	（高知大）	高知県眼科医会田内会長と情報をシェアさせていただきます。 問題がありましたら、再度ご連絡させていただきます。
岡山	白神史雄先生	（岡山大）	岡山市内は全く問題なく、関連病院も大丈夫です。
	桐生純一先生	（川崎医科大）	当院の被害はありませんでした。眼科外来も休まず、診療をしております。 現在、被害の詳しい状況を病院全体で確認中で、もし、何かありましたらご支援をお願いするかもしれませんが、その時は、よろしくお願い致します。
広島	木内良明先生	（広島大）	広島大学病院を含め広島市内中心部の基幹病院は建物の損壊もなく、 ライフラインも維持されていることから超急性期の対応は非常にスムーズに参りました。
山口	木村和博先生	（山口大）	眼科では、山口大学を含め基幹病院、開業医の先生方に関しまして、幸い今の所大きな被害等は報告されておりません。 交通網の乱れ等はまだまだありますが、県内の眼科医療に関しては大きな支障はないようです。
福岡	近藤寛之先生	（産業医科大）	産業医科大学には直接の影響はございませんでした。
	園田康平先生	（九州大）	九大および関連病院は大丈夫です。
	内尾英一先生	（福岡大）	福岡市付近では鉄道や道路などがまだ寸断されており、患者の通院などにも障害が生じているところがありますが、医局員や眼科医会の先生方の施設に直接被害が生じたところはなかったようです。
	吉田茂生先生	（久留米大）	教職員の自宅が床上浸水した被害はありましたが、関連病院には損害はなかったようです。
鹿児島	坂本泰二先生	（鹿児島大）	何事も起こっておりません。

平成 30 年 7 月 11 日

公益社団法人 日本眼科医会

白根 雅子 会長 殿

団体名 岡山県眼科医会

代表者氏名 渡辺 英 臣



依頼状

平成 30 年 7 月発生 of 西日本豪雨被害に対する診療支援のため、ビジョンバンの派遣をお願いいたします。

記

1. 希望日時：7月15日、16日

2. 場所：岡山県倉敷市真備町

15日 二万小学校

16日 菌小学校

3. 担当窓口：岡山県眼科医会 事務局

【連絡先】 岡山県岡山市駅元町19番2号岡山県医師会館内

086-250-1202 (平日10時～16時)

担当理事 辻 俊彦

【連絡先】(携帯番号・Eメール)

以上

資料⑩

Subject: 【お見舞い】台風12号について

平成30年7月 31日

都道府県眼科医会 会長各位

日本眼科医会 会長 白根雅子

事務局長 高須賀重信

西日本豪雨から幾日も経たないのに、今度は、台風12号に襲われました。各地で被害が出ているようです。衷心よりお見舞い申し上げます。

特に西日本豪雨被災地が台風の進路となり、まことにお気の毒です。被災地の方々には2次3次被害の恐怖はいかばかりであったろうと、心をいためております。

貴地の具体的被害状況をお聞きしております。もし、日眼医でご協力できることがあれば、お申し出ください。よろしく願いいたします。

【連絡先】

公益社団法人日本眼科医会 事務局長

〒105-0014

東京都港区芝2-2-14-7F

TEL03-5765-7755 FAX03-5765-7676

緊急連絡先 携帯番号 ○○○○○○○○○○○

mail: ○○○○○○○○○○○

.....

公益社団法人 日本眼科医会 事務局長 高須賀 重信

E-mail: ○○○○○○○○○○○

〒105-0014 港区芝2-2-14 一星芝ビルディング7階

電話:03-5765-7755 FAX:03-5765-7676

資料⑰

各都道府県眼科医会、日本災害対策会議構成団体の皆様

日本眼科医会会長 白根雅子
事務局長 高須賀重信

西日本豪雨災害において、多大な被害が出ました。改めて、被災地被災者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。
被災地眼科医会の現地活動に敬意を表します。特に、7月15、16日の岡山県真備町での岡山県眼科医会の眼科診療は、多くの成果を上げ、マスコミにも取り上げられました。
日本災害対策会議構成団体の方々には、ご支援ご協力を賜り、感謝に堪えません。

大きな被害を受けた眼科医療機関のある愛媛、広島、岡山の眼科医会に、白根会長が連絡して、具体的な支援の必要が無いことを確認させていただきました。
8月4日の第5回常任理事会で、一応の終息が宣言されたことを、ご報告いたします。
この間の詳細な記録は、日眼医のホームページに掲載を予定しています。

.....

公益社団法人 日本眼科医会 事務局長 高須賀 重信

E-mail: ○○○○○○○○○○○

〒105-0014 港区芝2-2-14 一星芝ビルディング7階

電話:03-5765-7755 FAX:03-5765-7676